



レッドリボンは、H I V感染者・エイズ患者への理解と支援の象徴です

平成31年2月28日

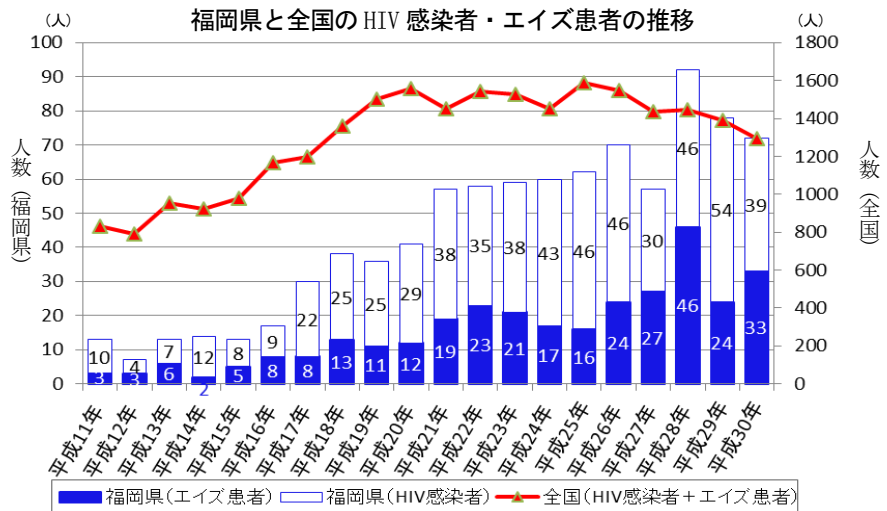
保健医療介護部がん感染症疾病対策課
直 通：092-643-3268
内 線：3079
担当者：長田・磯野

北九州市・福岡市と同日提供

平成30年における福岡県内のH I V感染者・エイズ患者報告数等について (平成31年2月28日現在、速報値)

福岡県では、エイズ予防対策の一環として、県内（北九州市・福岡市・大牟田市・久留米市を含む）のH I V感染者・エイズ患者報告数等の情報を年2回公表しています。

平成30年上半期 (1月～6月) 感染者：16名 患者：14名
平成30年下半期 (7月～12月) 感染者：23名 患者：19名



平成30年の報告数

- (1) H I V感染者は39名、エイズ患者は33名でした。
- (2) 年齢別でみると、H I V感染者では20歳代が最も多く17名、エイズ患者では50歳代以上が最も多く12名でした。
- (3) 性別・国籍別でみると、日本人男性が最も多く65名でした。
- (4) 推定される感染経路は、同性間性的接触が最も多く47名でした。

H I V感染症・エイズの治療は飛躍的に進歩しています

H I Vは感染力が弱く、性行為以外の社会生活でうつることはありません。

また、感染しても、早期に発見し適切な治療を継続すれば、エイズの発症を防いだり遅らせることができ、感染前と変わらない日常生活を送ることができるようになっています。

早期発見が大事！H I V抗体検査を受けましょう！

福岡県では、H I V感染者とエイズ患者の合計に占めるエイズ患者の割合が全国に比べて高く、H I V感染に気付かないまま日常生活を送っている人が多いと考えられます。感染に早期に気付くためには、H I V抗体検査を受けることが重要です。

県内の保健所では、無料・匿名でエイズ相談とH I V抗体検査を実施しています。

このうち9か所の保健所では、通常1週間かかる検査の結果が、約1時間で分かる迅速検査を実施しています。(別紙参照)

また、H I V抗体検査と同時に梅毒・性器クラミジア等のS T D (性感染症)の検査を受けることが出来る保健所もあります。

◆別紙 [福岡県内のエイズ・性感染症検査実施保健所一覧](#) 参照

エイズは、S T D (性感染症)のひとつで、誰でも感染する可能性がある病気です。H I Vに感染しただけではほとんど症状がないため、気付かず過ごしているかもしれません。

感染の不安がある方は、早めに検査に行きましょう。